

横田高校男子ホッケー部優勝
横田高校女子ホッケー部3位



第55回全国高等学校選抜ホッケー大会が、12月23日から27日にかけて、東京都と山梨県で開催され、横田高校男子ホッケー部は2年連続8回目の優勝、同校女子ホッケー部は3位に輝きました。

男子ホッケー部は、決勝戦で鳥取県八頭高校と対戦しました。第2クォーターで、八頭高校に先制点を取られましたが、第3クォーター開始早々に横田高校が猛攻を仕掛け、1・1の同点に追いつき、第4クォーターで逆転し2・1で優勝しました。

女子ホッケー部は、準決勝で福井県丹生高校と対戦しました。横田高校は、先制点を取られた後、丹生高校から放たれるシュートをセーブし続けましたが、攻め込むことができず0・1で敗れました。

男子ホッケー部の西村 洸希主将は、「インターハイや国体では先制点を奪われ負けてしまいました。メンタル研修を行い、先制点を取られても諦めない気持ちで挑んだ事が優勝に繋がりました。」と話されました。



横田高校女子ホッケー部

中国四国農政局「ディスプレイ農山漁村の宝」
奨励賞受賞
農事組合法人石原里田

「ディスプレイ農山漁村の宝は、「強い農林水産業」、「美しく活力のある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を農林水産省が選定し、全国へ発信する取組です。

この度、惜しくも全国での選定は逃しましたが、中国四国農政局「ディスプレイ農山漁村の宝」奨励賞を農事組合法人石原里田（代表・和久利健さん）が受賞されました。

1月26日に、役場仁多庁舎で授与式が行われ、関係者9名が出席しました。

同法人は、稲作、そば打ち、餅つき等の食育体験や田んぼに生息する生き物調査、古民家を活用した農泊事業を通じた関係人口の増加による地域活性化に尽力された事が評価されました。同法人の代表である和久利健さんは、「景観の紹介や後継者の育成のほか地元の方々の活力を引き出すために活動してきました。この賞がゴールではなく、今後他地域の模範となるよう計画を実行していきます。」と話されました。



(農)石原里田 和久利美佐夫副代表理事 和久利健代表理事

激励式が行われました



2月1日に役場横田庁舎で全国大会へ出場する団体の激励式が行われました。全国大会へ出場する団体を紹介しています。

和泉 圭亮選手 (仁多中)
2月6日から9日にかけて長野県で開催される第61回全国中学校スキー大会のスラロームとジャイアントスラロームに出場。
「初めての大会で緊張すると思いますが、自分の滑りをしたいです。」



上田 千笑選手 (横田中)
2月10日から12日にかけて北海道で開催される2024年第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲームのジャイアントスラロームに出場。
「コースアウトしないよう最後まで頑張ります。」

雲南圏域健康長寿しまね推進会議
令和5年度 健康づくり活動表彰を受賞されました!

雲南圏域健康長寿しまね推進会議では、地域や職場で主体的に健康づくり活動を行っているグループ・事業所の取組みを表彰しています。今年度は奥出雲町から2団体が受賞されました。

- 「布勢公民館セラバンド教室」 継続賞 活動年数継続年数5年以上
- 「八代町自治会奥出雲いきいき体操」 継続賞 活動年数継続年数5年以上



〔活動期間〕 平成19年～(活動年数16年)
〔活動の内容〕 毎週1回コミュニティセンターに集まり、セラバンドや奥出雲町いきいき体操等を行っています。



〔活動期間〕 平成30年～(活動年数5年)
〔活動の内容〕 毎週1回公会堂に集まり、奥出雲いきいき体操を行っています。

2団体とも地域住民の誰もが参加しやすい体制を取っており、住民の健康づくりに寄与しています。また、住民同士の交流の場となっています。町では、住民の方の健康づくりを応援していきますので、地域でセラバンド等の健康づくり活動を検討される方はご相談下さい。

※セラバンド：ゴム製の道具を使ったトレーニング。奥出雲いきいき体操：手首・足首に重りをつけて行う体操。

「お問い合わせ」
健康福祉課 健康づくり推進1・2係
電話 54-2781



令和5年度 援護事業功労者の 厚生労働大臣表彰



勝部友芳さん(三成)

勝部友芳さん(三成)が、令和5年度援護事業功労者の厚生労働大臣表彰を受賞されました。

これは、戦没者の遺族や戦傷病者の方とその家族等に永年にわたって携わり、その功績が顕著な方に対し、厚生労働大臣が表彰するものです。

勝部さんは、昭和48年に仁多町遺族連合会事務局長に就任され、平成17年の仁多・横田町合併に伴い、仁多郡遺族連合会の設立に尽力されました。その後、9地区の支部との連絡・調整を進め、適切な運営を図る等、51年もの間、援護事業に寄与されました。

奥出雲町 消防出初式



奥出雲町消防出初式が1月13日、カルチャープラザ仁多で開催され、消防団員128名が出動し、防火や防災への意識を新たにしました。

式典では、各種表彰のほか、退団者に感謝状が贈られました。式典後は、斐伊川護岸道路に移動し、今年1年の無火災を祈り、4年振りに仁多地域の分団による一斉放水が実施されました。



仁多地域分団による一斉放水の様子



受賞おめでとうございます

布勢地区の有志で構成する「駅舎プラン」が「県民いきいき活動奨励賞」を受賞されました。この賞は、地域の社会貢献活動に寄与した団体・個人に対し、島根県から贈られるものです。駅舎プランは、出雲八代付近を1/150スケールで製作したジオラマや、子どもたちによるトロッコ列車へのダンスと旗振りのおもてなしなど、地域一体となった活動が認められ受賞となりました。

ジオラマは毎月の第2日曜日の午前9時〜12時に奥出雲八代駅にて公開されています。詳しいお問い合わせは、布勢公民館までご連絡ください。

ジオラマを中心に記念撮影をする駅舎プランの皆さん

【お問い合わせ】 布勢公民館 有線:22-1504 電話:54-1504